

令和元年度第1回印西市史編さん委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年8月1日（木）午前10時00分～午後12時00分
- 2 開催場所 印西市立中央公民館 視聴覚室
- 3 出席者 五十嵐委員、中澤委員、鏑木委員、木村委員、村越委員、榎委員、植村委員、
- 4 欠席者 小林委員、宿城委員、大友委員
- 5 事務局 小那木生涯学習課長
山崎木下交流の杜歴史資料センター所長、能勢主査、野口学芸員
- 6 傍聴者 1人（定員3名）
- 7 議題（1）印西市史資料編近現代2について
（2）印西市史資料編近現代1進捗について（資料1・2）
（3）印西市史編さん事業基本方針について（資料3）

事務局：令和元年度印西市史編さん委員会開催
配布資料の確認
印西市市民参加条例第11条の規定に基づき公開
生涯学習課長あいさつ

事務局職員紹介(自己紹介)

委員長あいさつ

委員長：条例により議長を務めさせていただきます。

議事録署名委員の選出：中澤委員

議事（1）印西市史資料編近現代2について

議長：それでは議題（1）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい、説明させていただきます。

（内容読み上げ）

議長：質問等ございますか。

委員：許可がとれなかった部分に関しては、見た目があまりよろしくないのですが
このような形となりました。

議長：ご意見はございますか。

議長：ただ伏字にするのではなく、AとかBとか記号を使用する方法があったのか
もしれないですね。

委員：これは近現代2ということで、60年くらい前の史料ということですけども、
次回は近現代1ということで、100年前の同じような文書、あるいは100年経過した時にはどのようなことが判断基準になるのでしょうか。

委員：明治のものはほとんど大丈夫です。しかし、個人情報は気をつけないといけません。法律的に古い時代は大丈夫ですが、特定できるような新聞記事などは配慮する必要があるということです。

委員：近現代1より先んじて2が出された経緯をお聞かせください。

委員：刊行計画という中に、本塙と印旛と合併した10周年を記念して出します。ということで、市側、教育委員会側からの提案で刊行計画にそってやりました。合併前に、旧印西市の読本を刊行していますが、それに含まれていないところをきちんとやりたいという提案がありました。

戦後編がさきにでるという経験はそんなに多くありませんが、近現代が先に出るということはけっこうあります。

議長：それでは次の議題に移ります。

議題（2）印西市史資料編近現代1進捗について（資料1・2）

議長：それでは議題（2）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい、説明させていただきます。

（内容読み上げ）

議長：質問等ございますか。

委員：補足なのですが、第5章のところで災害を扱うことにしております。水害とか関東大震災とかも扱う予定です。

議長：資料編1は来年に刊行するのですか。

委員：再来年の3月です。資料2を見ていただくと、資料編2と同じペースで、資料を選定して、解説を書いて今年度中にできるなど、日常的に話しをしております。

議長：ありがとうございます。

議題（3）印西市史編さん事業基本方針について（資料3）

議長：それでは議題（3）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい、説明させていただきます。

（内容読み上げ）

議長：ご意見等ございますか。

委員：民俗の調査が令和8年度から開始とあるのですが、8年後にどれだけ話者がいらっしゃるかな、お話を聞けるのかなというのが懸案でございます。もし刊行することが決まったということであれば、少しずつでもお話を伺えたらと思っておりますけども、そういうことは可能ですか。

事務局：調査は可能ですが、どこまで希望に添える調査ができるかというところで、どうしても刊行が優先されてしまうということをご理解いただければと思っております。

委員：刊行が優先と言いますが、刊行するためには調査が必要だと思います。

事務局：いろんな調査の調整ですか、やはり時間と人が必要と考えておりますので、いろんな分野の部会の活動が同時並行というのは今の体制では厳しいということで、自然と民俗につきましては、開始時期をある程度本編あるいは資料編の目処調査が進んでいる時に開始するということで、具体的な明記をさせていただきました。

委員：1年～2年に一度のペースでしかたがないのかなと思います。

議長：中世編はいかがですか。

委員：中世の本編が令和9年と、その前に資料編が令和6年度の予定です。膨大な板碑の調査も含めて時間が必要になりますので、部会としてはこのへんであります。

議長：資料収集調査を令和4年度くらいまでやるということですね。

委員：実際には板碑の調査を含めて令和4年度までは継続して行うということになります。

委員：事務局の方で、来年この行事が途絶えそうだ、とかまつりが終わってしまいそうだと、急がなければならぬことがいただければ、すぐ行きますので。

議長：結論としては早くやってもらいたい。執筆員も大変でしょうけど、早く進めていただきたい。刊行計画をもう少し変更できたかな一つよろしくお願ひしたいと思います。結論としては、これにとらわれず、できるだけ早くやってもらいたいと、市の方にも予算措置を一つよろしくお願ひしたいと思います。

委員：木下交流の杜にも、何のテーマでもよいのですが、小さな企画展あるいは図録を出したらもっと人がくると思いますし、編さん事業も影響されて進んでいくのではないでしょうか。

議長：他になにかありますか。

事務局：最後に今年度刊行の市史研究誌について話をしたいと思っております。

今年度来年3月に第12号を刊行予定でおりまして、広報いんざい等で投稿原稿の募集をさせていただきまして、各専門部会からのお申し出により、今のところ、近世・近代・昨年の講演会の講演録を書いていただく予定です。またチラシでもお配りしたように、今年度の市史編さん講座でそれぞれ近現代部会の先生方5人にお話いただいた内容の要旨を掲載するということで現在予定をしております。

議長：みなさんの市史研究誌には書けるものがあつたらぜひ書いていただきたいと思います。ほかにご提案等ござりますか。

…ございませんようなので、この議事を終了させていただきます。慎重審議、ありがとうございました。以上をもちまして、議長の任を解かせていただきたいと思います。ありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。

令和元年第1回印西市史編さん委員会の議事録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和2年6月29日

印西市史編さん委員会

議事録署名委員 中澤 恵子 印